

令和3年11月25日
消 防 庁

「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方 に関する高度化検討会（救助人材育成）」の開催

社会情勢の変化に対する救助技術の向上を図ることを目的として、「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方に関する高度化検討会（救助人材育成）」を開催し、救助人材育成の教育体制や関係機関の連携等について検討してまいりますのでお知らせします。

1 背景・目的

近年、風水害・土砂災害等が頻発化・激甚化し、消防本部単独の対応力を超える災害も増加し、緊急消防援助隊を始めとした消防の広域応援、さらには、警察、自衛隊等の実働機関等との連携が求められる場面が増えている。

また、救助経験のベースとなる火災が減少する一方で、救助活動全体は依然として増加傾向にあり、救助の場面も多様化し、状況に応じた適切な救助手法の選択・判断が求められている。

一方で、団塊の世代の大量退職により職員の若返りが急速に進み、救助活動を担う職員に対する効果的な教育訓練のノウハウや指導方法の共有・実践が求められる状況にある。

このような救助をとりまく状況変化・課題に対応するため、関係機関の連携の方策、中核人材の育成、効果的な教育体制等について検討する。

2 検討事項

- (1) 関係機関との連携体制強化方策
- (2) 中核人材の育成
- (3) 効果的な教育体制

3 スケジュール

令和3年11月29日（月）に第1回を開催し、以降順次開催する予定。

4 委員等

別紙のとおり



<連絡先>

消防庁国民保護・防災部参事官付
担当：田中補佐、宮嶋係長、岡田事務官
TEL：03-5253-7507(直通)

「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方
に関する高度化検討会（救助人材育成）」委員・関係機関名簿

（敬称略）

【委員】

（学識者）

- ・小林 恭一 東京理科大学 総合研究院教授
- ・小松原 明哲 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 経営システム工学科教授
- ・中西 美和 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科教授
- ・山崎 洋史 仙台白百合女子大学 人間学部 心理福祉学科教授

（消防関係）

- ・會木 秀基 札幌市消防局 警防部 消防救助課長
- ・大久保 雅史 静岡市消防局 警防部 警防課長
- ・川口 伸洋 熱海市消防本部 消防署 当直司令
- ・小島 康幸 松本広域消防局 警防課長
- ・辻川 充 姫路市消防局 警防課長
- ・野呂瀬 亮一 東京消防庁 警防部 救助課長
- ・森田 拓志 全国消防長会 事業部 事業企画課長

【関係機関】

- ・内閣府（防災）
- ・警察庁
- ・国土交通省
- ・海上保安庁
- ・防衛省

【事務局】

消防庁国民保護・防災部参事官付